



おしゃべり

じんぐうべえ (神宮兵衛)

街角でふと流れてくるクリスマスソング、そして光輝くイルミネーション。人々の心がキラキラする時期になりましたね。そんなクリスマスなのですが、私にはどうにも頭に妙なものが思い浮かびます。今はもう高校生になった甥っ子が植え付けたイメージなのですが、彼が幼稚園の頃のことです。その日は幼稚園でクリスマスについて習ったのでしょう。帰るなり「あのね～、さんたくろーがじんぐうべえじんぐうべえってくるんだよ」と言ったのです。悲しいかな、私の脳ミソはすぐに漢字変換をしてしまいました。「参田九郎」「神宮兵衛」・・・いやいや洋物なのになぜ日本の時代劇！と突っ込みたくなりましたが、それ以来私の頭にはこの時期になると2人の侍(たぶん)が顔をのぞかせるのです。クリスマスの脳みそはやっぱり「やや洋風」で行きたいものだと思ってはいるのですが(笑)みなさんはクリスマスというときまずどんなイメージを思い浮かべますか？



観察

ねっこがすごい！

この時期になるとやりたくなるのが、ヒヤシンスの水栽培。今年も黄と白の2つの球根を入手して始めました。この2種類、名前を「黄：シティオブハーレム」「白：カーネギー」と言います。特に黄色はどういう経緯で付けられたんだと言いたくなるような名前ですよ。そもそも「ヒヤシンス」という名前はギリシャ神話に出てくる「ヒュアキントス」という美少年の名前に由来しているそうです。ある日、ヒュアキントスとアポロンが円盤投げをしていたら、風の神様が2人にちょっとやきもちを焼いて変な風を起こしたのです。それで円盤がヒュアキントスのおでこに当たって、血がポタポタ垂れて(彼は出血多量で死に至ります)、そこにこの花が咲いたのだそうです。これまたロマンチックなんだか「えー！ちょっとちょっと」なんだかよくわからない話ですが、「美少年の血から生まれた」というところが大事です(笑)花は春になるまで咲きませんが、まずは根っこが瓶いっぱいにもさもさ伸びるのを一緒に見守ってください。



今月のマフィンより

ヘーゼルナッツココナッツ

試作をしてひと口食べたときの感想は「ああ、こういうの、今まで作ってなかったかも」でした。

ヘーゼルナッツの香ばしい香りとコリコリ食感、ココナッツのほんのり甘い香りとシャキシャキ食感を「ちゃんと」「邪魔されずに」味わえるマフィンです。果物もチョコも入っていないので、甘すぎるのが苦手な方にもおすすめですよ。

マフィンを作る時、「基本味」と呼ばれる5つの味(甘味、酸味、苦味、塩味、うま味)をうまく組み合わせること、異なる食感を入れるというのが私の中では具材を選ぶ理由付けになっています。今回は「コリコリ」と「シャキシャキ」という、言ってみれば水気の少ない食感のみの組み合わせですが、なかなか面白いので是非お試しください。